

# FUTURE

未来へ向けた産業構造変革を共に。

INDUSTRIAL-X  
DIGITAL/PHYSICAL/HUMAN  
TRANSFORMATION PLATFORMS

## 各セッション見どころ紹介 Conference X in 広島

INDUSTRIAL-X

一般社団法人 中国経済連合会



株式会社バイタルリード  
代表取締役 森山 昌幸 氏

鳥取県大田市出身。広島大学大学院国際協力研究科修了。博士（工学）。ゼネコン、建設コンサルタントを経て1998年に起業。中国地方5県及び四国地方北部における地域公共交通計画策定、公共交通利用促進など数多くの交通関連業務に従事。過疎型MaaSとして配車システムTAKUZOによる定額乗合タクシー導入を展開中。



株式会社フジワラテクノアート  
代表取締役副社長 藤原 加奈 氏

慶應義塾大学経済学部、同大学院経営管理研究科修了（MBA取得）。醤油・味噌・清酒・焼酎などの醸造食品を製造する醸造機械メーカーのフジワラテクノアート代表取締役副社長。国内シェア8割を誇り、世界27か国への輸出を手掛ける。新たな経営理念の策定や2050年を見据えた開発ビジョン、DX推進、健康経営等、新たな施策を展開。岡山県ものづくり女性中央会会長。岡山県岡山市出身。



株式会社山本金属製作所  
代表取締役社長 山本 憲吾 氏

1996年に株式会社山本金属製作所に入社。2009年に同社代表取締役社長に就任。10年前よりデータ活用を提唱し、長年の加工経験を活かした技術開発・製品開発に取り組み、同社を研究開発型企業へと成長させる。近年ではIoTを活用した加工の見える化、自動化に取り組み2019年には経済産業省より第8回ものづくり日本大賞優秀賞を受賞。2021年には第55回グッドカンパニー大賞特別賞を受賞。



株式会社INDUSTRIAL-X  
代表取締役 八子 知礼（モデレータ）

1997年松下電工（現パナソニック）入社、製造業の上流から下流までを一通り経験。その後、複数のコンサルティング会社でパートナーまで務めた後、シスコシステムズのビジネスコンサルティング部門のシニアパートナーとして同部門の立ち上げに貢献。ウフルIoTイノベーションセンター所長としてさまざまなエコシステム形成の実績を多数残す。2019年4月にINDUSTRIAL-Xを創業、代表取締役を務める。2020年10月より広島大学AI・データイノベーション教育研究センターの特任教授就任。広島県産業振興アドバイザー、高知県IoT推進機理事なども務める。



実現したい未来を考えると必然的に「変化すること」を選ぶ。業界は違えど、本質には通ずるものがある。

このセッションでは、**利用者に寄り添うことでタクシー業界のビジネスモデル変革の立役者**となっている株式会社バイタルリード様と、国内トップシェアでありながら**新たな技術に着目した製品開発と、会社を支える社員一人一人のマインドセット**に勢力的に取り組む株式会社フジワラテクノアート様、元々製造業だけを生業としていたが、**次代に日本のものづくりを残すべく、様々なビジネス展開をしている株式会社山本金属製作所**様をパネリストに迎え、弊社代表八子がモデレータを務めます。

=== 事前顔合わせでの一面

IoTやAI活用の本質的な目的は「人材の育成」。

日本のものづくりを次代に残していきたい。

(株式会社山本金属製作所)

シェアが広がるほど、考えるのは未来のビジョン。

AIを活用してこれまでのビジネスをアップデートさせる。

(株式会社フジワラテクノアート)

利用者に寄り添えば、ビジネスモデルも根本から変わる。

「しなければいけない」ための移動手段から、

「生活を楽しむ」ための移動手段に。(株式会社バイタルリード)

===

# session2 : デジタルを活用した業務モデルのスマート化



株式会社総社カイトックファクトリー  
取締役 工場長 横山 巧氏

岡山県出身。新卒で地元大手ジーンズメーカーに入社。以降、一貫してアパレル業界を歩む。小売り/メーカー/生産工場を経験していることが強み。  
2013年 カイトックインターナショナル 総社ファクトリー入社  
2022年～ 株式会社 総社カイトックファクトリー 工場長



東洋電装株式会社  
代表取締役 桑原 弘明氏

1968年広島市に生まれる。1989年呉工業高等専門学校を卒業し三菱電機プラントエンジニアリング入社。2008年東洋電装に入社し、2014年代表取締役社長に就任。



広島電鉄株式会社  
専務取締役 仮井 康裕氏

1983年3月立命館大学経営学部を卒業し、同年同月広島電鉄株式会社入社。2012年4月同執行役員（呉バスカンパニープレジデント）に就任し、翌年6月に同取締役（呉バスカンパニープレジデント）に就任する。2015年9月同取締役（バス活性化推進本部長・人材管理本部長）、2020年6月同専務取締役（交通政策本部長・人材管理本部長）、翌年6月同専務取締役（交通技術研究室・交通政策本部・人材管理本部担当、DX戦略室長）を経て現在に至る。



株式会社Surpass  
代表取締役CEO 石原 亮子氏（モデレータ）

短大卒業後、大手生命保険会社でトップセールスとして活躍。一部上場企業からベンチャー企業まで100業種以上の営業実績を持つ。2008年8月株式会社Surpassを創業。LTV(永続的な信頼関係と売上の構築)を重視した女性による営業アウトソーシングのバイオニア。2021年、営業DXと女性育成ノウハウを活かし、徳島市やさぬき市とジェンダー格差改善を目指した連携協定を締結。「Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2017」企業部門第3位の受賞を始め、女性が活躍する企業として多くの賞を受賞。「EO Central Tokyo」理事、東京都女性起業家活躍推進プロジェクト「NEW」メンターなど起業家支援機構でも幅広く活動している。



人は変化を躊躇するもの。ただ、今後労働人口の減少や感染症による**予測不可な変化は待ったなし**の状態。

じゃあ、どうするか。このセッションでは、従来の慣例を少しずつ変化させ、次々と降りかかる待ったなしの変化に対応、打ち勝つべく挑戦する企業が討議します。**完璧な成功例ではなく、リアルな裏話**。ぜひご覧ください。

=== 事前顔合わせでの一面

ジーンズの聖地岡山で、変わり続ける老舗に。

生産工程をデジタルで可視化し、全体最適を目指す。

(株式会社総社カイトックファクトリー)

労働人口の減少、紙や印鑑はまだまだ溢れている。

いかにしてデジタルを活用し働く人のパフォーマンスを最大化させるか。

(広島電鉄株式会社)

デジタルツールの活用にとどまらず、次に目指すのは製造ラインの最適化。

広島工業大学とタッグを組み、挑戦し続ける。

(東洋電装株式会社)

ピカピカの先進事例ではなく、リアルなDXの事例や裏側のお話に

ぜひご期待いただきたいです。(株式会社Surpass)

===



旭酒造株式会社  
代表取締役社長 桜井一宏氏

1976年山口県周東町の酒蔵の長男として生まれる。1999年に早稲田大学社会科学部卒業し、同時に株式会社平和入社。2006年同社を退社し、旭酒造株式会社入社。常務取締役に就任。2013年10月Dassai Franceの代表取締役に就任し、同年11月に取締役に就任。2016年9月旭酒造株式会社代表取締役に就任。

瀬  
祭



全日本空輸株式会社  
デジタル変革室 イノベーション推進部 担当部長 西郷 彰氏

大手メーカー、Startup等を経て、2009年リクルートに参画。データサイエンティストとして主要メディアのレコメンド/機械学習のプロジェクトを担当し、その後、AI・DATA全社横断部署立上げ、リクルートHD直下のIDポイントに関するデータ推進責任者等を歴任。2020年より全日本空輸株式会社にて、ANAグループにおけるDX・データ推進やデジタル組織・人材強化に関連する業務を担当。大学等での講義等、ボランティアとしての活動多数。

ANA

“データ活用はあくまで手段であり、人の意思決定を後押しするものである。

データと人の感覚を行き来しながら意思決定をし続けることで、データが土台となり、人のクリエイティブはより拓かれる。”

このセッションでは究極のホスピタリティを追求すべく「**デジタル人財の内製化**」に取り組む全日本空輸株式会社様と、究極の美味しさを追求すべく**データに基づく日本酒の品質向上**に取り組む旭酒造株式会社様の対談セッションです。

人のクリエイティブとデータの相乗効果とは？必見です！

=== 事前顔合わせでの一面

お客様一人一人への顧客満足を追求するために、  
業務に精通する内部の人間をいかにして  
「デジタル人財」に育て上げるか（全日本空輸株式会社）

データ活用は結果的に生産性向上になるかもしれないが、  
ゴールではない。あくまでゴールは「付加価値の向上」  
人も手間もかけていいものを造る。（旭酒造株式会社）

===



株式会社ウーオ  
代表取締役 板倉 一智 氏

鳥取県出身。実家から徒歩5分の場所に港があり、親族や幼馴染の多くが「漁業従事者」。新卒で大手物流企業へ就職。帰省のたびに漁船の減少、セリは衰退し港は半分しか使用されていないなど、水産業の衰退を目の当たりにし起業を決意。これまでの流通をデジタルに変換することで情報の非対称性が解決され産地消費地ともに新たな流通を実現する水産流通プラットフォーム「UUUOウーオ」を開発。



株式会社PHONE APPLI  
代表取締役社長 石原 洋介 氏

1997年に株式会社APC Japanに入社。2000年シスコシステムズ合同会社に入社し、コラボレーション エバンジェリストを担当。2011年、青山学院大学大学院にてMBA取得。2016年当社代表取締役社長に就任。現在は、人の力を引き出す環境の実現を目指し、すべての企業へ自社の実践経験をもとにした「働き方改革」と「Well-Being経営」の思想を多くの企業へ伝えている。

## PHONE APPLI



CIO Lounge  
友岡 賢二 氏 (モデレータ)

企業のDXを加速するため関西の製造業の現役CIOやOBが集まって結成したCIO Loungeメンバー。悩みを抱える企業に寄り添い無償ボランティアでCIOコンサルティングを実践中。本業では製造業のCIO/CDOとして、コミュニティでは「武闘派CIO」として多方面で活躍。





このセッションでは、広島県の水産業において慣習として残り続けるアナログな情報のやりとりをいかにデジタルで変革し、需給のバランスを取っているか、**水産業×デジタル活用**に取り組まれる株式会社ウーオ様と、山口県萩市の藩校を活用してアプリ開発センターを構え、**大好きな萩市に****いながら世界で活躍できるエンジニア育成**に勢力的に取り組まれている株式会社PHONE APPLI様をパネリストに迎え、CIO Lounge友岡様によるモデレートで討議いたします。

=== 事前顔合わせでの一面

「おい魚、君の目はなぜ濁っているのか？」  
水揚げされた魚が店頭に並ぶまで。  
漁業の未来を変えたい。(株式会社ウーオ)

「大好きな私の街、萩。」  
萩の街で育ち、萩の街で世界で活躍するエンジニアになる。  
眠っていた能力を引き出すのは熱量とコミュニケーション (株式会社PHONE APPLI)

デジタルなしでも成立した業界の変革と、  
デジタルネイティブと現地コミュニティとの出会い。  
私自身も当日が楽しみです。(CIO Lounge)

===

**Conference X in 広島 2022** **Session 1**  
「Utilization for Business」  
デジタルや新技術の“活用(Utilization)”  
-ビジネスを変革するデジタルや新技術の活用-



株式会社バイタルロード 代表取締役	株式会社フジワテクノアート 代表取締役副社長	株式会社山本金属製作所 代表取締役社長	株式会社INDUSTRIAL-X 代表取締役
森山 浩幸 氏	岡原 加奈 氏	山本 重吉 氏	八子 知礼 (モデレータ)

**Conference X in 広島 2022** **Session 2**  
「Utilization for Workstyle」  
デジタルや新技術の“活用(Utilization)”  
-デジタルを活用した業務モデルのスマート化-



株式会社総社カイタックファクトリー 東洋電装株式会社 広島電装株式会社 株式会社Surpass	取締役 工場長 代表取締役 専務取締役 代表取締役CEO	横山 巧 氏 藤原 弘明 氏 笹井 康裕 氏 石原 亮子 氏 (モデレータ)
--	---------------------------------------	---

**Conference X in 広島 2022** **Session 3**  
「Utilization of the Data」  
デジタルや新技術の“活用(Utilization)”  
-データを徹底的に使いこなす-



旭酒造株式会社 代表取締役社長	全日本空輸株式会社 デジタル変革室 イノベーション推進部 担当部長	榎井 一宏 氏 西郷 彰 氏
--------------------	--------------------------------------	-------------------

**Conference X in 広島 2022** **Session 4**  
「First-step for Utilization」  
デジタルや新技術の“活用(Utilization)”  
-新技術導入をためらう人に贈る言葉-



株式会社ウーオ 株式会社PHONE APPLI CIO Lounge	代表取締役 代表取締役社長	坂倉 一智 氏 石原 洋介 氏 友岡 賢二 氏 (モデレータ)
--	------------------	---------------------------------------

